

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和6年5月29日
NO.1 文責 河村

キャリア

サケの稚魚を放流しよう～川のつながいを考える～

4月30日（火）に、昨年の10月から学校内の水槽で大切に育ててきたサケの稚魚を放流しました。

この活動は、地域ボランティアの石垣さん、とかち帯広サケの会の千葉さんや伊藤さんのご指導やご協力をいただきながら、例年3年生が実施しているキャリア教育となります。



サケの稚魚

放流の取組をより意義あるものにするために、3年生の先生方と協力し、事前にサケに関する動画を見たり、大型地図を使って川から海の手ながりを確かめたりすることができました。サケの稚魚放流の学習を通して、機関庫の川以外の川の場所や名前も調べるきっかけにもなりました。

振り返りのワークシートを見ると、十勝川流域のイメージをもつことができた子どもたちも多かったようです。実際の放流場面では、カップに入った稚魚をじっくり観察したり、稚魚が川にとどまっている様子を優しく見守ったりする姿がありました。

今後は、サケの稚魚を放流した経験をきっかけに、機関庫の川のことでも不思議に思ったことや調べてみたいことを見つけ、自分達で課題を設定し、探究を進めていく学びを展開していきます。



～サケの稚魚放流を振り返って～

- ・サケのちぎょがすごく元気で、コップの中ではなていてびっくりしました。大人になって帰ってきたサケに会いたいです。
- ・楽しかったけど少しさびしかったです。がんばって帰ってきてほしいと願いながら放流しました。
- ・小さいサケの赤ちゃんが川から海まで行くなんてすごいと思いました。
- ・これからサケは大変だと思ったし、もっとサケのことを知りたくなりました。

ライフジャケットを着用することで安全に関する意識を高めました。
自分達で正しくライフジャケットを着用することができました。